

令和元年度 第2回 学校評価アンケート(児童)

【適合度】 ■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない □ そう思わない

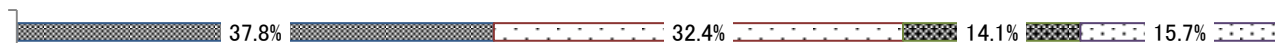
学校の勉強がよく分かる。



先生は、勉強をていねいに教えてくれる。



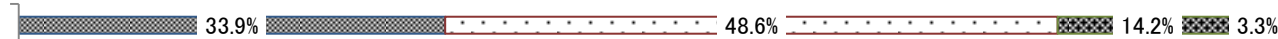
宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。



友だちと仲よくし、みんなで活動できる。



家の約束や学校のきまり・ルールを守っている。



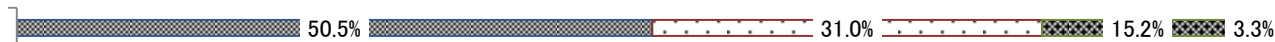
人や身の回りの物(生き物もふくむ)を大切にしている。



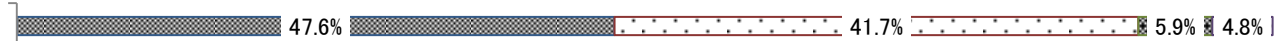
運動やスポーツを元気に楽しむことができる。



「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しく生活している。



栄養や健康を考えてしっかり食事をしている。



困ったときや何かあれば、先生に相談している。



学校でのことをおうちの人に話している。



【令和元年度第2回学校評価アンケート(児童)結果のお知らせ】

第2回目の児童アンケートから、それぞれの項目について「そう思う・大体そう思う」を合わせた適合度を割合で見ると、「先生は、勉強をていねいに教えてくれる」98.9%「友だちと仲よくし、みんなで活動できる」91.9%「人や身の回りの物(生き物もふくむ)を大切にしている」94.1%と高評価となりました。その他の項目でも「学校の勉強がよく分かる」「家の約束や学校のきまり・ルールを守っている」「運動やスポーツを元気に楽しむことができる」「『早寝・早起き・朝ごはん』等、規則正しく生活している」「栄養や健康を考えてしっかり食事をしている」「学校でのことをおうちの人に話している」などが8割を超える結果となりました。今後も、望ましい人間関係作りや豊かな集団生活が営まれる学級・学校を目指して、学習をはじめとする様々な活動や取組のさらなる充実を図っていききたいと思います。

課題としては、前期に引き続き「宿題以外の家庭学習に取り組んでいる」70.2%が挙げられます。前期の62.3%に比べると少し増えていますが、今後さらに、自主学習・家庭学習の習慣づけを保護者の方と共通理解を図りながら、取組を進めていききたいと思います。また、「困ったときや何かあれば、先生に相談している」は74.7%になっており、子どもたちの良き相談相手であり何でも話せる存在でいられるよう、一人一人の思いを共感的に受け止め、教職員一同より良い集団作り、学校・学級経営を進めていきたくと考えています。